

町田市障がい児者自立支援研究・研修会便り NO. 14

2026年1月吉日

町田市障がい児者自立支援研究・研修会

代表 森 公男

あけましておめでとうございます。
本年も、どうかよろしくお願いいたします。

【学習会「就学前・学齢期障害児の自立支援」を開催しました】

2025年11月28日（金）に「就学前・学齢期障害児の自立支援」をテーマとした学習会の第3回目を開催しました。今回は就学前から学齢期にかけての困りごとに焦点を当て、会員や地域関係者から情報提供とアドバイスを収集することを目的としました。以下に学習会で話題となったことをご紹介します。

就学前の主要な課題

支援級選択に関する問題

アクセスの課題：支援級が自宅から遠く、最寄りでも30分以上かかる状況

選択肢の限界：全ての学校に支援級が設置されておらず、兄弟が通う学校にない場合の不安

就学判断時の情報不足

学校選択基準の不明確さ：どのような基準で学校を選べばよいかわからない

情報の不確実性：

先生やクラスメイトは毎年変わるため、見学時の雰囲気が続くか不明

学校統廃合により教室配置やトイレ状況の確認が困難

交流の程度や支援級職員配置基準が「その年による」という曖昧な回答

情報の錯綜：様々な噂や情報が交錯し、自分の子どもに該当しない内容で不安が増大

情報入手の困難

たらい回し問題：町田市、川崎市、校長間で責任の所在が不明確

手続きスケジュールの不透明性：

就学前の年間スケジュールが不明

支援学校入学の場合の手続き方法や時期が不明

親同士の自助伝聞に依存している現状

就学後の課題

教育センターと学校現場の連携不足

判定と現実のギャップ：教育センターの普通級判定と現場教師の認識に相違があり、入学後の支援級転入が発生

情報共有の不備：就学前健診時に教育センターの判定が学校側に共有されていない事例

中学進学時の不安

進路選択の迷い：支援級か支援学校かの選択時期における情報不足

ガイダンス不足：親が何を材料にいつから活動すべきかの指針がない

福祉サービスに関する課題

放課後等デイサービスの質の問題：

施設数増加に伴う質の低下

異年齢利用者の同時利用による制約

防犯対策の不備：防犯カメラ未設置による事故時の対応困難

サービス選択肢の変化：行動援護は増加したが移動支援が減少

各機関からの支援情報

保健所の役割

妊娠期からの継続支援：0歳から発達課題のある子どもと家族への支援

個別ケースワーク：必要に応じて就学前の校長面談への同行支援

相談窓口機能：困りごとの相談を受け、適切な部署への橋渡し

子ども発達センターのサービス

相談支援：0～18歳未満を対象に、年間500件の就学前相談と300件の就学後相談を行っています。

療育サービス：児童発達支援、保育所等訪問支援、市独自の無料療育

地域支援：出張相談、子育て広場巡回相談、センサリールーム運営

まるごとサポートセンターの機能

障害を受容しきれていない場合にお勧めの相談窓口となります。

包括的相談支援：属性や世代を問わない相談受付

アウトリーチ支援：自宅訪問による相談対応

多機関協働：複合的な課題に対する関係機関との連携支援

今後に向けて

①就学前保護者への情報提供システムの改善を検討すること

②各支援機関での相談窓口情報を周知すること

③当会でも先輩保護者と若い保護者の交流機会を検討していくこと

【町田市議会健康福祉常任委員との懇談会を開催しました】

2025年12月16日（火）に町田市議会健康福祉常任委員との懇談を市役所にて行いました。町田市障がい児者自立支援研究研修会からの発言をご紹介します。

1 高齢化対策からみえている課題

障がい者とその家族が高齢化し、双方の暮らしが成り立たないケースが増加し、さらに増えていくことが予備軍の多さから予想されています。

判断が難しい障がい児者や高齢化した保護者の暮らしに必要な後見制度について、町田市法人後見ネットワークから発言をしてもらいました。

2 重い障がいや行動障がいがある方が利用できるGHの設置、運営への支援

障がい者とその家族の高齢化に伴う問題解決の1つとして、グループホームで暮らすことができるようにするニーズがあります。市内の障がい者が利用できるグループホームの数は増えていますが、重い障がいや行動障害がある方が利用できるグループホームは増えていかない状況です。その理由の1つは、手厚い介護体制を維持する人件費と介護度が高いサービスを提供する設備などの資金が、通常のグループホームよりもたくさん必要となるからです。そこで、当会は町田市による資金面での支援を要望する書面を提出しました。その際には、町田市から今後の障がい者プラン27-32に向けて一緒に検討していきましょうという返答をいただきました。健康福祉常任委員の皆さまにも、ご理解とご協力をお願いいたします。参考資料としてボワ・すみれ福祉会後援会による研修会（2025年11月27日開催）による資料をお渡ししてあります。

3 高齢化した家族による障がい者介護の負担軽減の必要性

① 高齢化した家族による障がい者介護の負担軽減対策として期待できる事業の利用が困難になっている状況について、障がい者支援センターから現状を報告してもらいました。

- ・ 居宅介護事業、移動支援事業のヘルパー不足
- ・ 短期入所、緊急一時保護事業の利用が困難な状況になっていること

② 緊急一時保護事業の利用条件にレスパイトを認められていない状況について、「きらり」さんが報告してくれました。

4 低年齢障がい児への支援

学習会「就学前、学齢期障がい児の自立支援」（2025年11月28日開催）の概要として以下のことお伝えしました。

- ・ 就学前障がい児の保護者への情報提供システムと相談窓口を周知する必要性
相談窓口の周知
相談内容に応じたナビゲートと専門的助言が受けられる体制づくり
- ・ 相談を受ける機関における合理的配慮の徹底

- ・相談するまでのサポートとして同じ立場の保護者同士を主な対象とした懇談の機会を当会でも検討していく。
- ・「ミックスベリー」さんからも、障がい児が生まれた家族へのフォローと就学前の検診における配慮について発言してくれました。

5 福祉サービス提供事業所の運営について

人材確保と最低賃金の上昇、物価高騰による運営費支出の増加している現状を、ボワ・すみれ福祉会とつるかわ学園からお伝えしました。

6 災害対策

・福祉避難所への直接避難について

障害があり避難所での避難生活に支障が想定される場合も、1次避難所へ避難した後、2次避難所である福祉避難所へ避難することが原則となっています。

重症心身障がい児者の場合は、生命維持、避難生活を維持するために必要な荷物を抱えての移動することは極めて困難です。

また、自閉症児者の場合は、いつもと異なる変化があると不安定になる傾向や感覚が過敏な方も多く、避難所は刺激過多となります。自分を安定させるためにとる行動（多動や奇声など）が奇異であるため理解してもらえず迷惑と思われることが心配で、利用を躊躇せざるを得ないという方も多くいます。福祉避難所への直接避難が認められることを願っていることを伝えました。

・自宅避難者への支援

（１）安否確認

個別避難計画に記載されるはずなので、防災という切り口で独居の方、孤立している方へ福祉サービスの利用を検討してもらうアプローチをするきっかけづくりにすることが有効ではないかという意見を紹介しました。

（２）発災後の支援体制づくり

自宅に備蓄している物資が底をついてきた場合を想定した支援システムの準備が必要。

防災に関する会員など関係者アンケートには、

- ・自宅避難のマニュアル（決まり事）があると良い。
- ・障がい児者を連れて物資をとりに行くことは困難。

という記載がありました。いずれの意見も自宅避難を想定した準備を障害がある本人と家族と支援側がしていくことの重要性をお伝えしました。

・災害発生後の生活を支える計画作成について

どこで、誰が検討し、実用的なものにしていくのかについて、どのように進めると良いのかを検討し、実用的なシステムを構築する必要があります。とくに医療関係機関が関わる際

には、発災前からの医療情報を取得することが必要であることをお伝えしました。

7 通院交通費についての規制を緩和することについての発言をしました。

8 障がい者差別の解消に向けて

町田商工会議所主催の「心のバリアフリーの日」イベントが12月3日障がい者週間初日に開催されました。その振り返りを行いながら、今後の活動について意見交換を行う学習会を2月6日（金）10：00～12：00開催で企画していることを伝え、参加を呼びかけました。

【休日見学会のご案内】

障がい福祉サービス事業所の利用希望者向けに、休日でも見学することが可能な事業所と日時をまとめ、ホームページに掲載しています。

<https://machida-jiritsu.net/2025/06/09/299/>

【懇談会を開催しています】

懇談会を定期的に行っています。当会の活動状況をお知らせするとともに、障がい福祉に関わる様々な話題について情報共有と意見交換をしています。5名前後のグループに分かれて、ざっくばらんにおしゃべりできる時間もあります。気になっていることや困っていること、毎回様々な話題が出ています。

会員以外の方も参加できます。途中からの参加、途中までの参加も自由です。一度覗いてみてはいかがでしょうか。お気軽にご参加ください。

＜参加方法＞ ハイブリッド開催

・オンライン（Zoom） ID：698 965 9800

パスワード：m-fukushi

・対面 せりがや会館4階サロン

＜今後の開催予定＞ 毎月第2火曜日 10：00～11：30に開催

【学習会「障がい者差別の解消を目指して」のお知らせ】

2025年12月3日（水）に町田商工会議所による「心のバリアフリーの日」イベントが開催されました。町田市障がい児者自立支援研究・研修会で集めた「利用してよかったお店リスト」の情報を提供し、イベントに協力してきました。このイベント振り返り、今後に向けて障がい者差別を解消していく為にどのように取り組んでいくと良いのかを検討する機会として、学習会を開催します。

開催日時：2026年2月6日（金）10：00～12：00

開催方法：ハイブリッド開催

集会 町田商工会議所 2階会議室

オンライン（Zoom） ミーティング ID：882 1393 1294 パスコード：779389

【連絡先】 社会福祉法人まちのひ 法人事務局 瀧本・小黒
電話番号：042-794-6155
FAX：042-794-7252
メール：machidajiritsu@gmail.com
（自立支援研究・研修会専用メールアドレス）